

DV-225N

(埋込寸法 225 角、接続パイプ φ100)

DV-270

(埋込寸法 270 角、接続パイプ φ150)

速結端子付

ダクト用金属換気扇

屋内用 台所・居室・事務室・店舗用

取扱取付説明書 (保証書付)

お買い上げいただきありがとうございました。

なお、この取扱取付説明書は、大切に保管してください。

ご使用になる前に

- この取扱取付説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。
- お客様ご自分で取り付けないでください。必ず専門の工事店へ依頼してください。

※ここに示した注意事項は、表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の大きさと切迫の程度を、次の表示で区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な内容(左図の場合は一般指示)が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

〈安全上のご注意〉

換気扇を正しく安全に取り付け、ご使用頂くために、つきのことを必ずお守りください。

!**警告**

	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわないでください。 発火したり、異常動作してケガの原因となります。
	交流 100V 以外では使用しないでください。感電・火災の原因となります。 直接炎があたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取り付けないでください。火災の原因となります。
	傷んだ電源線は使用しないでください。感電・ショート・発火の原因となります。 ガス漏れのときは換気扇のスイッチを入・切しないでください。スイッチの火花により爆発・引火の原因となります。
	浴室など湿気の多い場所には絶対に使用しないでください。感電・故障の原因となります。 濡れた手で電源スイッチの操作をしないでください。感電・ケガの原因となります。
	本体各部に直接水やお湯、かび取り剤をかけないでください。感電・ショート及び変色・ヒビ割れの原因となります。 掃除の際モーター・コンデンサー・スイッチ・コネクター(速結端子)等の電気部品を水に浸したり、水をかけたりしないでください。感電・故障の原因となります。
	配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実におこなってください。 接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因となります。
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクト及び本体部が貫通する場合、金属製ダクト及び本体部とメタルラス、ワイヤラス、金属板などが電気的に接触しないように取り付けてください。 漏電した場合、発火の原因となります。
	ご使用中に異常(回転が止まる・音が大きくなる・回転ムラ・異常な匂い・振動)等が発生したら直ちに使用をやめてください。感電・火災の原因となります。 安全のため、必ずアースを取り付けてください。感電の原因となります。
	お手入れの際は必ず電源スイッチを切り、さらに電源(ブレーカースイッチ)を切つてからおこなってください。感電・ケガの原因となります。

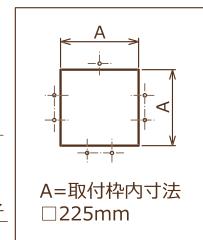
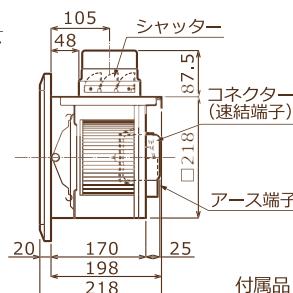
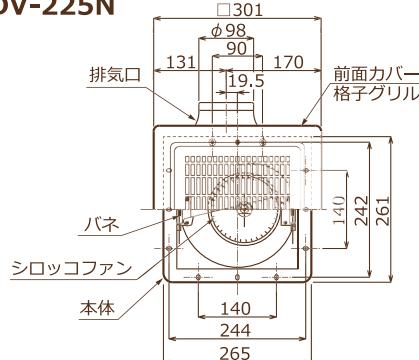
!**注意**

	本体は断熱材等で覆わないでください。故障・漏電の原因となります。
	ファンを取り外さないでください。異音・故障の原因となります。
	運転中は危険ですからファンの中に指や物を入れないでください。ケガの原因となります。
	屋内であっても高温(周囲温度が 40℃以上)になる場所や、薬品を使う場所には取り付けないでください。絶縁が悪くなり感電の原因となります。
	塩害・温泉害の発生している場所では使用しないでください。故障の原因となります。
	電気工事は、必ず電気工事店に依頼してください。感電の原因となります。
	本体の取付工事は充分強度のあるところを選んで確実におこなってください。 落下によりケガの原因となります。
	前面カバーは確実に取り付けてください。落下によりケガの原因となります。
	お手入れの際は必ず厚手の手袋を着用してください。部品の端等でケガの原因となります。
	長期間使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切つてください。 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

各部の名称と寸法

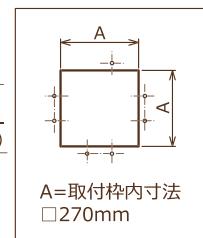
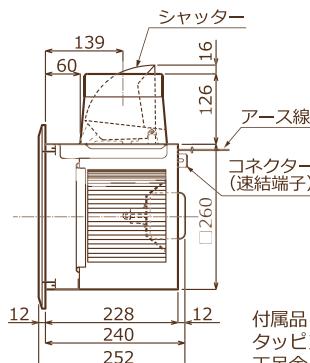
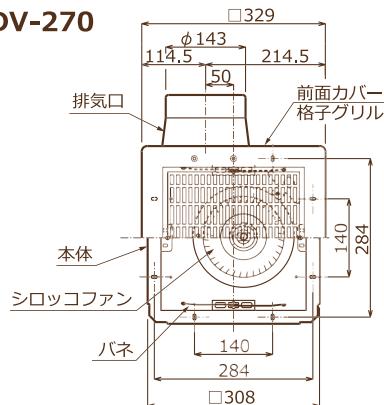
DV-225N

(単位mm)



付属品：
タッピングねじ $\phi 4.0 \times 32$: 9本

DV-270



付属品：
タッピングねじ $\phi 4.0 \times 32$: 9本
天吊金具 4個
天吊金具固定ねじ $\phi 4.0 \times 12$: 8本

仕様

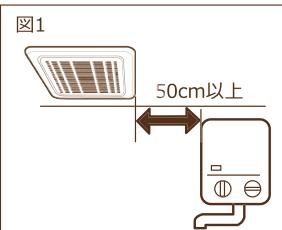
性能表

風量はダクト未装着(0Pa)時の開放風量です。

形名	電圧(V)	周波数(Hz)	消費電力(W)	風量(m³/h)	騒音(dB)	重量(kg)	適合パイプ
DV-225N	100	50/60	27/28	184/182	37/38	3.9	φ100
DV-270			30/33	320/310	37	6.1	φ150

取り付け時の注意

- 湯沸器からは横方向に50cm以上離れた位置に取り付けてください。真上は高温となりますので絶対に取り付けないでください。(図1)
- 金属製のダクトを使用して木造の壁を貫通する場合にはダクトと壁とは電気的に絶縁してください。
(電気設備技術基準第182条第3項)
- 地域によってはジャバラを使用できない場合がありますのであらかじめ所轄の官公庁(特に消防署)にご相談ください。
- 傾斜した天井には取り付けないでください。
シャッター開閉不良・振動・異音の原因になります。



- 電源は必ず正しく配線された交流 100 ボルトを使用してください。
- 取付工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)」及び「内線規程」に従い実施してください。
- 製品重量に耐えるよう取付方法に従って取り付けてください。取り付けが不十分ですと危険です。また振動・異常音の原因となります。
- 天井材は共鳴しにくい石こうボード・吸音板・繊維板等をご使用ください。
- 換気扇を取り付けた天井には、必ずダクト接続部が点検できる保守点検口を設けてください。
- 換気扇の対面に新鮮な空気を取り入れる給気口を設けてください。
- 排気ダクトは、塩ビ管・アルミフレキダクト・スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1/100 以上下り勾配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥等の侵入を防ぐためのペントキャップ(別売部品)または、雨水等の浸入を防ぐためのウェザーカバー(別売部品)等を取り付けてください。
- この製品には市販品の埋込スイッチが必要です。

■次のような取り付けをしないでください。

- 換気扇付近の温度が高温(周囲温度が 40℃以上)になる場所や、薬品を使う場所には取り付けないでください。絶縁が悪くなり感電する原因となります。
 - 本体を断熱材等で覆わないでください。故障・漏電の原因となります。
 - 本体を木枠の上に固定しないでください。
 - 右図 2 のようなダクト工事はしないでください。風量低下・異常音の原因となります。
 - 排気ダクトの先端には、防虫網付のペントキャップやウェザーカバーを使用しないでください。
- ※ほこりで目詰まりして、換気不足の原因となります。

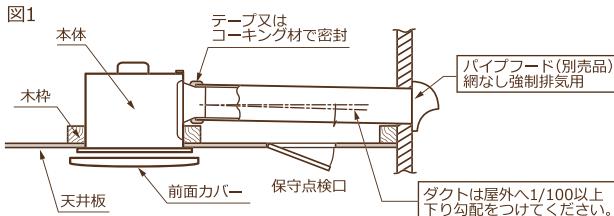
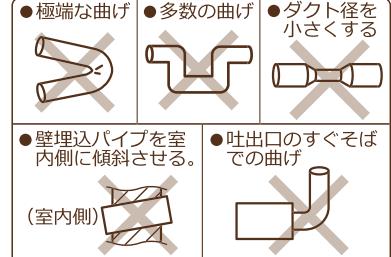


図1



取付方法

1. 木枠の準備

- 木枠内寸法にあわせて木枠をつくり、野縁に固定します。
(3 ページの製品寸法・木枠内寸参考)
- ※製品の重量に十分耐えるように、木枠を補強材等で野縁に固定してください。

2. 排気口とダクトの取り付け

- 本体から排気口を取り外してください。
- ダクトを排気口にしっかりと差し込んで風もれのないように、テープ又はコーキング材で密封してください。※テクスねじ等で止めないでください。シャッターが開かなくなることがあります。
- ダクトは屋外側に向けて 1/100 以上の下り勾配をつけて取り付けてください。(図 3)
- 排気口と木枠の中心をあわせ、天井板と木枠に密着させるように取り付けてください。
排気口を付属のタッピングねじ(2 本)で固定してください。(図 4)

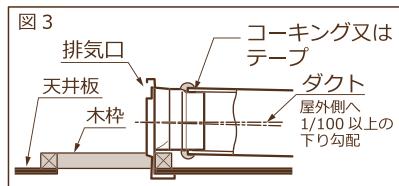
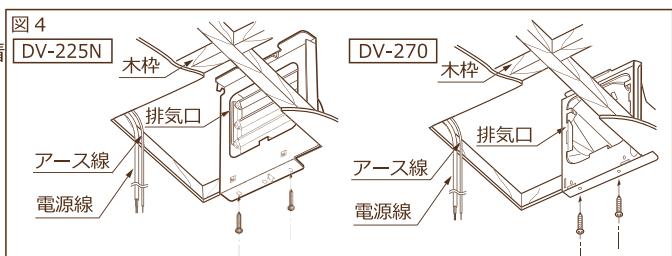


図3



- 排気口・シャッターを変形させないでください。
- 排気口が傾いていますと、本体が取り付けられない
ので注意してください。(図 5)

3. 電源線・アース線の接続

- 電源線及びアース線は本体の取り外しができるよ
うに 70cm 以上たるませてください。
- ①電源線(VVFケーブル $\phi 1.6, \phi 2$)を皮むきして、コ
ネクターに芯線が止まるまで確実に奥まで強く差
し込んでください。(結線例参照)
- ②アース線を接続してください。
- ③スイッチ(別売品)は、必ず電圧側に取り付けてくだ
さい。

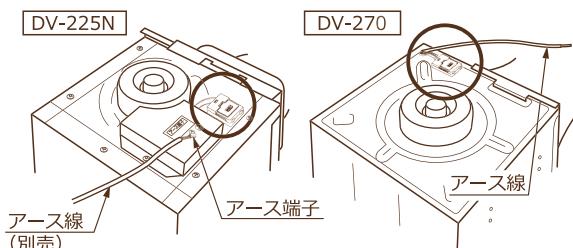
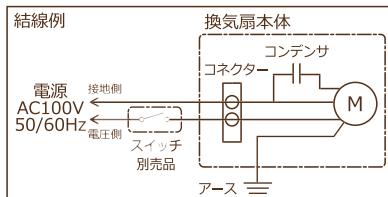
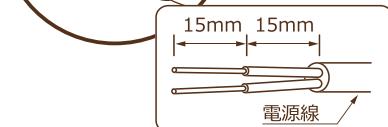
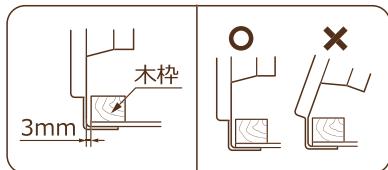


図5



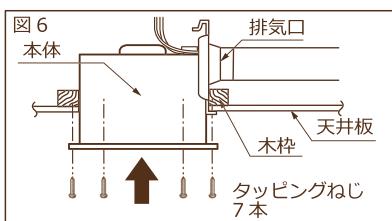
ご注意

- 誤配線した場合は正常に作動しません。故障の原因
となります。
- 皮むきした芯線が露出しないようご注意ください。
感電・ショート・発火の原因となります。

4. 本体の取り付け

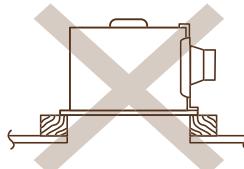
- 2の手順で取り付けた排気口に本体を挿入してください。(図 6)
- 本体が排気口に密着していることを確かめてから、付属のタッピングねじ(7本)で本体を
しっかりと固定してください。

※すき間があると風漏れの原因になります。※配線をはさまないように注意してください。



ご注意

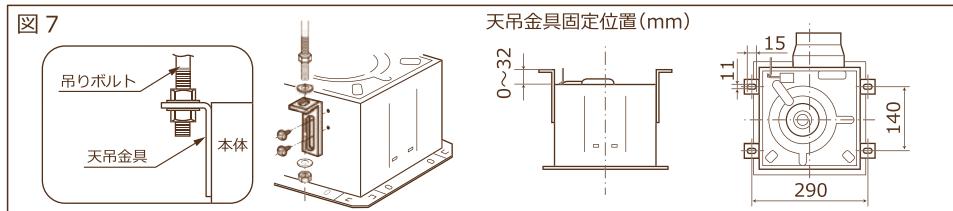
本体を木枠の上に固定しない。



DV-270 天吊金具の取り付け

- DV-270 は必ず付属の天吊金具を使って4ヶ所固定してください。(図 7)
- ※DV-270 は必ずアンカーボルト工事をしてから、付属の天吊金具を使って固定してください。

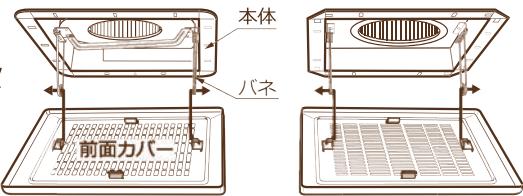
図 7



5. 前面カバーの取り付け

前面カバーの取り付け

- 本体についている2つのバネをつかんで引っ張り、前面カバー裏側についているフックにひっかけ、手を放し軽くグリルを押して取り付けてください。



試運転を行う

以上で、換気扇の取り付けが完了しました。次の取り付けと運転について確認してください。

- 製品の取付強度が十分であること。●運転・停止をして異常な振動・異常音がないこと。

使いかた

- 壁に取り付けたスイッチ(別売品)で電源の「入」「切」をしてください。

ご注意

- この換気扇は外気逆流や冷気侵入を抑えるため、風圧式のシャッターを設けています。風圧式のシャッターは急激なドアの開閉や外風の強い場合にシャッター音が聞こえることがありますが故障ではありません。
- IH クッキングヒーター(電気コンロ)等を設置したミニキッチン・台所に取り付けた場合、水蒸気が多量に発生する調理を行うと換気扇本体に結露しグリルから結露水が滴下するおそれがあります。その際はご面倒ですが「鍋などに蓋をする」、「早めに加熱量を調整する」など水蒸気の量が少なくなるようにしていただくか、滴下する前にグリルと本体内部を乾いた布等で拭き取ってください。

(IH クッキングヒーターはガスコンロに比べ熱効率が高く、調理時に換気扇の周辺温度が上がりにくいため、特に冬期の温度が低い場合に結露(水滴)が生じるおそれがあります。)

お手入れのしかた

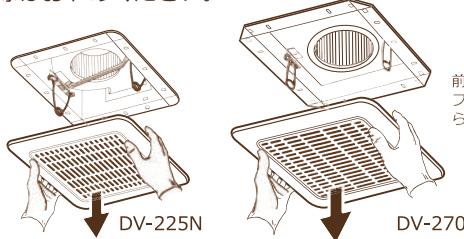
- ご注意** ! お手入れの際は必ず電源スイッチを切り、さらに電源(ブレーカースイッチ)を切ってからおこなってください。感電・ケガの原因となります。

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋を着用してください。
- 前面カバーやファン等にホコリや汚れが付着したままで使用されると、風量低下・異音の原因となります。目安として約1ヶ月に1度の掃除・点検をお願いします。
- お手入れには中性洗剤をご使用ください。
- 下記の溶剤や洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤などを使用すると異常音の発生、変質、変色、塗装はがれなどの故障の原因になります。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしないでください。傷や変色の原因となります。
- モーター等の電気部品に水をかけないでください。絶縁不良となり、漏電等の原因となります。またスプレー式クリーナー等での掃除はおやめください。



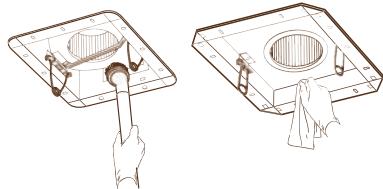
前面カバーの掃除

- 前面カバーを両手で持って下げ、前面カバー裏の2つのフックをバネから外してください。
- 中性洗剤溶液に浸してしぼった布で汚れをふきとってください。その後、かわいた布で水気を十分にふきとってください。



本体・ファンの掃除

- ほこりを掃除機で取り除いてください。
- 本体・ファンは、取り付けたまま、中性洗剤溶液に浸してしぼった布で汚れをふきとってください。その後、かわいた布で水気を十分にふきとってください。
- ファンに衝撃を与えると、モーターの軸に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。



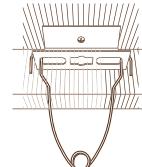
お手入れが終わりましたら

- 前面カバーを取り付けてください。(6ページ「取付方法」の5.「前面カバーの取り付け」参照)
- つぎのことを確認してください。
 - 前面カバーが確実に取り付けられていること。不完全ですと落下することがあります。
 - 試運転を行い、運転・停止をして異常な振動・異常音がないこと。

本体からバネを取り外した場合は、バネの向きを正しく取り付けてください。



本体におさめた状態



バネを引っ張った状態

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危険の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体に行っていきます。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して製造した年から安全上支障なく使用することが出来る標準的な期間です。※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また偶発的な故障を保証するものではありません。

「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

●この製品は常時喚起(24時間連続換気)対応ではありません。



【製造年】本体に西暦4桁で記載

【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火、けが等の事故に至る恐れがあります。

【設計上の標準使用期間】は「保証期間」とは異なります。

■標準使用条件

環境条件	電圧	単相100V
周波数	50Hz及び/又は60Hz	
温度	20°C	
湿度	65%	
設置条件	標準設置	取扱取扱説明書による
負荷条件	定格負荷(換気扇)	取扱取扱説明書による
想定時間	1年の使用時間	換気時間 台所 2,410時間/年 居室 2,193時間/年 トイレ 2,614時間/年

日本工業規格 JIS C 9921-2による

注記 表の温度20°C・湿度65%は、JIS C9603の試験状態を参考としている。

異常が生じた時

ご注意

ご家庭での修理は危険ですのでやめください。

●本機が作動しない場合、次の表の点検事項を確認していただき、それでもなお異常のある場合は、事故防止のため使用を中止し電源(ブレーカー)を切り、お買い求めの販売店または専門施工店にご相談ください。

異常内容	点 檢 事 項
運転しない	●ヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●停電ではありませんか。 ●ファンに何か当っていますか。

長期ご使用の換気扇の点検を

愛情点検



ご使用の際こののような症状はありませんか？

- 電源(ブレーカー)を入れても時々羽根が回転しないことがあります。
- 回転が遅い。または回転が不規則である。(排気が弱い)
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 焦げ臭い"におい"がする。
- その他の異常がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源(ブレーカー)を切り、必ず販売店または専門施工店に点検・修理を依頼してください。

アフターサービスについて

- ①この製品は保証書がついております。お買上げの際に、販売店または専門施工店よりかならず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。保証書の記載内容により修理致します。
その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理については販売店または専門施工店にご相談ください。
- ④日本電興株式会社は依頼店からの注文により補修用性能部品を供給します。
換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または専門施工店か本書に記載の日本電興株式会社へお問い合わせください。

ダクト用換気扇 保証書

形名	DV-225N、DV-270	製造年月	本体に記載
保証期間	お買い上げ年月日： 年 月 日より1年間（本体）		
お客様	ご芳名 様 TEL ご住所 〒		
販売店	店 名 TEL 住 所 印		

この保証書は、本書に記載の内容で無償修理を行うことをお約束するものです。

上記「保証期間」中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示のうえ修理をご依頼ください。

- 所定記入欄が空欄のままで、本書は有効とはなりません。記入のない場合は直ちにお買上げの販売店へお申し出ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

<無償修理規定>

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無償修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品等で修理依頼ができる場合には、販売店か本書に記載の日本電興株式会社へご相談ください。
3. 保証期間内でも、次のような場合には有償修理となります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の転倒、取り付け場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- (二)一般家庭用以外(例えは業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
- (ホ)本書のご提示がない場合。
- (ヘ)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
- (ト)取扱説明書で禁止されている設置をされた場合。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

※この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権限を制限するものではありません。

日本電興株式会社 〒486-0912 愛知県春日井市高山町2丁目31-5
TEL 0568-34-6688 FAX 0568-34-6611